

 <p>市長 水野義則</p>	<p>愛知県 おわりあさひし <b>尾張旭市</b> みんなで支えあう 緑と元気あふれる 住みよいまち 尾張旭</p>	<p>【データ】※平成 28 年 4 月 1 日現在 人 口：82,757 人 世 帯 数：34,272 世帯 面 積：21.03 ㎢ 市 の 花：ひまわり 市 の 木：くすのき 特 産 物：イチジク プチヴェール 陶磁器 電気製品 再生紙</p>
 <p>市 章</p>	 <p>尾張旭市イメージキャラクター 「あさびー」</p>	

## ■ 尾張旭市の紹介

尾張旭市は、愛知県の北西部に位置し、名古屋市の中心部から約 15 km と、通勤、通学などに恵まれた立地にあります。

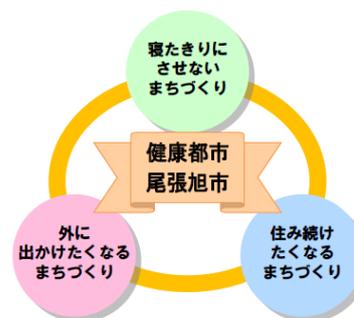
北部には、市域の 6 分の 1 (3.62 ㎢) を占める愛知県森林公園 (昭和 6 1 年全国森林浴 100 選の森に制定) をはじめとして、樹林地や公園、大小のため池などがあり、身近なところで豊かな自然にふれあうことができるバランスのとれたまちです。



## ■ 健康都市のあゆみ

尾張旭市は、平成 1 6 年 6 月に WHO (世界保健機関) 西太平洋地域健康都市連合に加盟し、同年 8 月に「健康都市宣言」を行いました。翌年 4 月には、健康都市連合日本支部設立の発起人メンバーとなり、同年 1 2 月に「尾張旭市健康都市プログラム」を策定しました。

「尾張旭市健康都市プログラム」では、「寝たきりにさせないまちづくり」、「外に出かけたくなるまちづくり」、「住み続けたくなるまちづくり」の 3 つを施策の方針に定め、まち全体で「健康都市 尾張旭市」をめざしています。



## ■ 代表的な健康都市の取組

### ◆ 脳の健康チェックテスト「あたまの元気まる」

平成 2 5 年 5 月から全国の自治体で初めて、認知症の前段階といわれる軽度認知障がい (MCI) のスクリーニングテスト「あたまの元気まる」を始めました。約 1 0 分間の対面式で簡単な質問に答えるもので、平成 2 7 年度は 7 3 9 人が受検されました。



(「あたまの元気まる」実施中)

### ◆ 自主グループによる筋力トレーニング

日常生活に必要な筋力の維持・増進を図り、将来にわたって自立した日常生活を送ることができるよう、市と健康づくり推進員が協働で「らくらく筋トレ体操」を広めています。地域の公民館や集会所を利用することで、地域コミュニティが形成され、生きがいつくりや閉じこもり予防も図られています。平成28年3月末現在で、52の自主グループ、1,319人が取り組んでいます。



(仲間と一緒に筋力トレーニング)

### ◆ 食育紙芝居

健康づくり食生活改善協議会は、手作りの食育紙芝居を市立保育園で披露しています。食べ物を4色に分け、それと同色で手作りした衣類を着て紙芝居をすることで、わかりやすく「食」の大切さを伝えています。



(保育園で紙芝居を披露)

### ◆ ニュースポーツ体験会

スポーツ推進委員は、市民の体力向上や健康の維持・増進を図るため、誰でも気軽にスポーツを楽しめるニュースポーツの体験会を開催しています。平成27年度は716人が参加し、自ら進んで運動できるきっかけづくりとなっています。



(「ニュースポーツ」体験中)

### ◆ 民間企業との連携した健康都市づくり

本市では、民間企業と協定を締結し、民間の持つ優れたノウハウ等を活用した様々な健康都市づくり事業を実施しています。

#### ● 大塚製薬株式会社との連携

大塚製薬株式会社と消防署が連携し、平成27年6月に市内の小学校で熱中症対策教室を開催しました。

5,6年生と保護者・教員を対象に、熱中症予防と対処法について、専門的な内容をわかりやすく教えていただきました。



(5,6年生の熱中症教室)

#### ● ミズノ株式会社営業本部名古屋支社との連携

ミズノ株式会社から講師派遣等の協力を受けて、ノルディックウォーク事業を推進しています。平成28年4月に開催したノルディックウォーク教室では、はじめてのかたから経験者まで49人が参加し、講師から丁寧な指導を受けることができました。



(ノルディックウォーク体験会)

担当 尾張旭市 企画部 秘書課 健康都市推進室 電話 0561-53-2111 (代表)